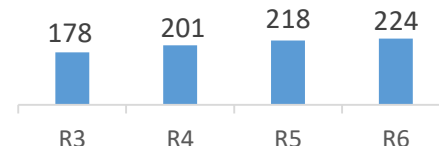


【新規】大学との連携により開発した高齢者向け体操アプリケーションの導入（実証実験）

1 事業の目的

- ・ 高齢化が進展する中で、介護予防のために健康づくりや社会参加の機会を増やすことが求められている。
- ・ 一方で、本市においては、周辺地域における過疎化やライフスタイルの変化等により、地域や地縁での介護予防活動や社会参加（＝通いの場等への参加）が困難な人が増加しつつある。
- ・ そのため、大学や市内企業との連携により、デジタルを活用し、高齢者向けのインターフェースを備え、安全、安心かつローコストで介護予防活動に取り組めるサービスの導入に向けた実証実験を行う。
- ・ まずは通いの場や介護施設での導入等により介護人材の省力化を図るとともに、高齢者の自主的な介護予防活動を支える仕組みの形成を目指す（令和7年春から実証実験開始）。

通いの場の件数



2 事業スキーム・実施内容等

広島大学の研究をもとに開発した体操アプリケーションの導入・実証

【実施内容】

- ・ 大学の研究成果をもとに市内企業が開発した体操アプリ（Healthy Exercise）を導入し、高齢者の運動の動機づけを行うとともに、運営側が利用者の参加状況や状態の把握を容易に行えるようにする。

【実施手法等】

- 1) 複数の通いの場や介護施設等をモデルとして選び、半年間、無料で利用いただく
- 2) 実証費用
100万円（広島県の市町の課題と企業をつなぐオープンアクセラレーター事業「The Meet」で採択）
- 3) KPI
利用者数、利用者の継続率、利用者の得点の推移

【メリット】

- ・ 機材を設置するだけ、操作も利用者が端末を操作する必要がないプログラムなので、インストラクター等が不要となり、無人化・省力化できる。
- ・ 利用者が次回も通いの場等に行く動機が高まる。
- ・ 運営者側も、誰がいつ利用しているのか、どのような効果があったのか等を数値で把握できる。

開発・実証実験実施
(株)コトブキソリューション（東広島スタジオ）

コトブキソリューションについて

株式会社コトブキソリューション

従業員：約150名

本社：広島県呉市（写真上）

支社：広島支社、東京支社、東広島スタジオ、大阪スタジオ

主事業：システム開発事業、ゲーム事業

本事業の開発拠点は東広島市下見にある弊社東広島スタジオ（写真下）です。



研究・開発協力
栗田雄一 広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授



Healthy Exerciseについて



技術説明



Healthy Exerciseは高齢者向けの体操アプリケーションです。NEDOの事業により広島大学で研究されたものを基に弊社が開発しました。カメラに向かって左のお手本と同じ動作を行い、体操が上手く行えているかを判定します。

Googleが主導となって開発しているMediaPipeを使用し、カメラで撮影した映像から人間の肩、肘、腰といった主要なポイントをリアルタイムで検出しています。

検出されたポイントを使用し、お手本通りに腕をあげているか、肘を曲げているか、といった動作を行っているかリアルタイムでの判定を行い、判定結果を○×△の三種類で画面上に表示しています。

【特徴・今後の機能の拡張予定】

- ・ 広大の理学療法士が考案した50種類以上の体操から、AIで本人に適した運動メニューを提供。他の利用者と比較した得点・順位を表示しモチベーションを向上させる機能、手を挙げるだけで開始等の高齢者に配慮したインターフェース、運動できない部位を事前に選択できる機能等を搭載。
- ・ Web上で記録を確認できるクラウドサービスや体力測定等の機能を拡充予定。